運営会議たより

6月/2018年/NO.34

発行■特定非営利活動法人鎌倉市市民活動センター運営会議（認定法人）［鎌倉市市民活動センター指定管理者］
TEL0467-60-4555 FAX0467-61-3928 ■E-mail:npo@chive.ocn.ne.jp ■http:// npo-kama.sakura.ne.jp/uk/

■特集■P2～3

「新体制が発足しました／理事挨拶」

通常総会を終え、新たな出発に際して

鎌倉市市民活動センターは、五月一日に設立二十年を迎えました。記念事業として「和をつなぐ。輪をひろげる。」の統一コンセプトのもと、これまでの活動の足跡を辿りつつ、市民活動の持続可能な未来を見据えた各種の事業を展開しています。

また、今年度は「鎌倉市市民活動センター」の三期目の指定管理者としての最終年度です。市民活動を行っている団体の中間支援組織としての役割を果し、次期指定管理者への応募に向かい取り組んでまいります。

多くの団体では、メンバーの高齢化、活動場所の確保、活動資金などで存続に苦慮されていると思います。団体が社会貢献活動を継続していくためには、資金も重要でありますが、先ずは人員確保が重要な課題であると思います。その解決策として、情報誌やインターネット、SNS等を活用した、タイムリーな情報収集・情報発信を徹底し、団体同士のコラボレーション支援や市民が「市民活動」へ積極的に参画できるような魅力的な企画を講じてまいります。

明日を担う鎌倉市内の高校生などの若いエネルギーを取り入れ、皆様のお知恵をお借りしながら、鎌倉の市民活動の灯を守り、その光の輪がさらに大きくなりますよう、共に歩んでいきましょう。

（理事長　平塚　優）

■*鎌倉市市民活動センター運営会議（以下、運営会議）は、*
市民活動団体支援を目的とするNPO中間支援組織です

■*運営会議は、鎌倉市 NPO センター（鎌倉・大船）2館の指定管理者です*

■*鎌倉における市民活動の活性化と自立を支援し、共に豊かな地域社会をめざします*

総会報告／理事挨拶

平成三十年五月二十六日に第十九回通常総会が大路ビルにて開催され、平成二十九年度の活動報告・決算報告、平成三十年度の事業計画・活動予算が承認されました．また、役員改選が行われ、理事五名、監事二名が決まりました。





昨年度よりスタートしたＮＰＯセンターの設立二十周年事業を進めながら、承認された事業計画に沿って着実に運営を進めてまいります。

副理事長　香山　隆

センターが出来て二十年、市民活動センターとは少しでも地域のために役に立ちたいとの想いを持った市民のため、鎌倉市役所の敷地内に無料で使用できる会議室を提供いただいたものです。そこから全国でも有数な市民活動団体が醸成され、現在でも活発な活動が続いております。

わがセンターの誇るべき資産は、その市民活動団体と長年支援し続けたセンタースタッフの方々です。運営会議の会員はその市民活動をサポートする会員として、多岐な視点から応援をすることが基本と思っています。

市内の現場で汗をかいている方々の想いを行政に伝える窓口として、改めてこの責務を果たしていきたいと考えます。

副理事長　西畑　直樹

人生には三つのサカがあるそうです。上り坂、下り坂、そして二年前には予想もしなかったマサカの展開でこの度理事を拝命することになりました。

地元浄明寺の町内会活動には多少関わっていたものの、それまでＮＰＯにはほとんど縁も関心もなかった私ですが、センタースタッフになってはじめて市民活動の奥深さ、広がりを実感いたしました。運営会議の体制強化、団体同士のつながりの推進、自治会活動と市民活動の連携、そして広報活動などなど理事会がリードすべき課題は満載ですが、センターの運営経験を活かしながらこれらの課題に真摯に取り組んでいく所存です。

センター設立二十年の節目の年にあたり、諸先輩方が築きあげたセンターの歴史と信用に敬意を表しつつ、次の二十年を続けるための布石を打つことが与えられた理事の使命と心得ております。どうか皆さまの絶大なるご協力とともに、あたたかいご指導ご鞭撻を賜りますよう切にお願いいたします。

理事　淺利　篤

この度、理事に就任した淺利と申します。

ボランティアの経験は閉店しましたが「朋の店」で足掛け５年ほど障がい者が作った製品を販売していました。亡くなられた店のオーナーの座右の銘は「一隅を照らすものは国の宝」で、会社に勤めながら亡くなるまで28年間、「障がい者に少しでも収入を」の思いでお店を続けておられました。この経験は生涯忘れられないものとなりました。そして、二年前に鎌倉市市民活動センターの広報部で再びボランティア活動を開始しました。

当該センターはＮＰＯ登録団体、自治会／町内会、ボランティアなど市民活動を支援する組織であり、皆様に少しでも役立てるよう努めていきたいと考えています。

センター設立二十周年を迎え、次の世代に市民活動が繋がるよう時代に即応した仕組みの構築に向けて活動してゆきたく皆様のご協力をよろしくお願い致します。

理事　阿部 芳子

数か月前まで、運営会議の理事になることなど、夢にも思っていなかった私が、推薦者に強く推されたにしても、今回の思いがけない流れの中で、理事の一人として任務をお引き受けすることになりました。

ふりかえって、私は２０００年の夏にＮＰＯセンターのスタッフとして採用されたことから、自分が二十代から属してきた団体の活動や、自治会での働きが、市民活動の一端であることを自覚するようになり、それが私の市民活動への目覚めの時となりました。

当時、当センターは公設民営のＮＰＯセンターの全国的先駆けとして、各地から多数の視察が続いており、センター内に充ちる新たな息吹を感じつつ、私自身もその熱い風を共有するような気持ちで、スタッフとして勤めておりました。スタッフとしては五年前に退きましたが、以降も折々の会議、イベント等への参加は大事にしている昨今です。

今年はセンター設立二十周年の節目の年であり、年間を通して既に計画されている記念事業の実現のために、高齢新米理事としてどれだけのことが出来るのかとたじろぐ思いですが、皆様方のご協力を信じて進みたいと思っております。

監事　國友 靖久

二回目の監事の就任となりました。いまだに福祉介護の分野で責任者の仕事をしていますので　かなり忙しいのと突発的な事態が発生することもありますのでお役に立てないかもしれませんが、できるだけのことはいたしたいとも思います。

市民活動は市民の自主的な社会活動であり、中間団体としての運営会議は、それらの市民活動を活性化することがその使命であろうと思います。

その使命を実現していくためには、ボランタリア（無償）の方々にその任務を負わせていくには限度があるのではないかと思っています。たとえば相談事、研修事に対するアドバイスは、それなりに専門知識が必要であり、その専門家を確保するのには無償奉仕で依頼するのはどうかなと思っています。善意だけにすがるのは難しいと思います。

今後の運営会議のあり方をしっかりと議論して道筋を作っていただけたらと思います。

監事としてしっかりと見守っていきたいと思います。

監事　那須 修

既に一回監事役を経験し、監事役が決して「閑職」ではない事は認識しています。

運営会議理事会の舵取りには直接関与する立場ではありませんが、許されている意見表明の「重さ」が問われるということなのでしょうか。

大きく変貌する時代のなかで、我々組織の成り立ちの原点を忘れず、市民活動が目指し、期待されている時代の要請を見据えて、積極的かつ具体的に活動を展開させてゆくためには、組織のなかに「質」の高い人間関係が育まれていなければ成り立たないのではないかと思います。そのような人間関係を意識して束ねて行くのが理事会であるのであれば、とても大変な役目を担う事を期待されているのではないでしょうか。

このたび役員に選任されている理事の皆様におかれましては、必ずや相互に協力して真摯に運営会議を導いていただけるものと信頼し、大いに期待しておる次第です。



事務局長　浅井 俊克

事務局長に就任いたしました浅井と申します。

鎌倉市市民活動センターに来て半年になります。それまで市民活動への関わりはほとんどなく、まずは市民活動とは何か、を知るため、「鎌倉市民活動白書　風と潮流」を読みました。二十年前のセンター設立当初の熱い息吹が感じられました。当時は全国からの見学者でにぎわったと聞きます。そして、今のＮＰＯセンターも魅力的なアクティブシニアが集う場であることに気づきました。

市民活動条例制定に向けたワークショップに参加しました。近隣にあるからと制定するだけでは意味がありません。条例が市民活動を統制ではなく、促進するものとなるためには、ビジョンが必要だと思いました。

鎌倉市市民活動センターは二十周年を迎え、ターニングポイントを迎えていると感じています。私自身がアクティブシニアになるためどう生きるか悩みながらも、事務局長を務めさせていただくこととなりました。なにとぞよろしくお願い申しあげます。

平成 30 年度主要スケジュール

月	指定管理事業	自主事業
4 月		
5 月		第 19 回通常総会（5/26）
6 月	鎌倉パートナーズ発行　第 87 号 第 1 回利用登録団体懇話会（6/23）	運営会議たより発行　第 34 号
7 月		
8 月	第 20 回かまくら市民活動フェスティバル（8/25,26）	
9 月	鎌倉パートナーズ発行　第 88 号	運営会議たより発行　第 35 号 第 1 回全員会議（9/22）
10 月	第 2 回利用登録団体懇話会(10/20)	
11 月		「NPO 支援かまくらファンド」公開審査（11/3）
12 月	鎌倉パートナーズ発行　第 89 号	20 周年記念交流会（12/1） 運営会議たより発行　第 36 号
1 月	第 3 回利用登録団体懇話会（1/26）	
2 月		第 2 回全員会議（2/23）
3 月	鎌倉パートナーズ発行　第 90 号	運営会議たより発行　第 37 号



会　員　募　集

運営会議は会員によって支えられています。入会随時です。

〈会費〉
正 会 員
　個人正会員　2,000 円
　団体正会員　3,000 円
賛助会員
　個人 1,000 円、２口以上
　団体 1,000 円、３口以上
正会員数　　79 名
団体正会員数　　９団体
賛助会員数　　27 名
賛助団体数　188 団体
（６月１日現在）

20 周年記念事業

『特別ファンド』の実施について

今年の「かまくらファンド」はＮＰＯセンターの設立 20 周年記念事業のテーマ「和をつなぐ。輪をひろげる。」に沿って、従来の単一団体の活動に加え、団体同志の共同事業や事業目的の異なる団体の連携事業を歓迎しています。大いにアイディアを出していただき、新しい活動の波がひろがることを期待しております。

◎募 集 期 間：9 月 1 日(土)～29 日（土）
◎公開審査会：11 月 3 日(土・祝)
◎助 成 総 額：100 万円

交流会にご参加を！

市民活動にご関係の皆さま方の交流・親睦を深めるため「交流会」を企画しています。是非ご参加下さい。

◎開催日時：12 月 1 日(土)　17 時～19 時
◎会　　場：鎌倉パークホテル
◎会　　費：2, 000 円

鎌倉市市民活動センター運営会議は「認定 NPO 法人」格を取得しています

“あなたのご寄附が、鎌倉の街を元気にします”

ご寄附いただいた場合、「寄附金控除」制度が適用され、確定申告で税金の還付が受けられます

お問合せは NPO センター鎌倉まで！！